

令和4年度 当初予算の概要

第1． 予算編成方針と予算の規模	
予算編成方針	1
予算の規模	3
第2． 一般会計予算の概要	4
第3． 主要事業一覧表	9
第4． 特別会計予算の概要	
(1) 病院事業債管理特別会計	1 2
(2) 国民健康保険事業会計（事業勘定）	1 4
(3) 国民健康保険事業会計（施設勘定）	1 6
(4) 後期高齢者医療会計	1 8
(5) 介護保険事業会計	2 0
第5． 企業会計予算の概要	
(1) 水道事業会計	2 2
(2) 公共下水道事業会計	2 5
(3) 農業集落排水事業会計	2 8

令和4年度 予算編成方針

現在の日本経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるが、引き続き持ち直しの動きに弱さがみられ、各種経済対策を講じているものの、新たな変異株の出現による感染拡大への懸念が生じていることから、新型コロナウイルス感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

国においては、新型コロナウイルス感染症対応に万全を期し、感染症により大きな影響を受ける方々の支援等を速やかに行うべく必要な対策を講ずるとともに、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとした新しい資本主義を実現すべく精力的に取り組むとしている。

こうした中、令和4年度の国の予算については、国民を守る医療提供体制や検査体制の確保、変異株を含む新たなリスクに対する万全の備えのためのワクチン・治療薬等の研究開発、雇用・事業・生活に対する支援等を推進するとともに、「経済財政運営と改革の基本方針2021（骨太方針）」（令和3年6月18日閣議決定）に基づき、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、メリハリの効いた予算とすることとしている。

また、地方財政に関しては、地方が安定的な財政運営を行うために必要な一般財源総額について、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保することとしている。

一方、本市の財政状況については、令和4年度は市税等の増が見込まれるものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の再流行による経済への影響の長期化などから、今後の歳入を取り巻く環境は厳しくなることが見込まれる。

歳出面においては、人口減少や少子高齢化対策、安全・安心なまちづくり等を積極的に推進する中、社会保障関係費の増加や、新型コロナウイルス感染症への対応、また、公共施設等の維持、更新経費の増加、「生涯活躍のまち形成事業」などの市政発展のために必要不可欠な事業の進捗により、財政需要の増大が見込まれる。

このような状況を踏まえ、令和4年度の予算編成にあたっては、「第2期 旭市総合戦略」に掲げる4つの基本目標の実現と、「チーム旭でまちづくり」の推進に向け、関連する諸施策を着実に実施することを基本とし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を行いながら、本市の更なる発展を目指して、下記の事業に取り組むものとする。

記

「旭市総合戦略」4つの基本目標に基づく事業

(1) 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

農業経営の生産基盤の強化を支援するための新規就農総合支援事業、水田農業構造改革推進事業、家畜防疫対策事業、園芸生産強化支援事業等。

活力ある商業活動を支援する商業活性化推進事業。

新たな観光資源を創出し、全国に発信を行う観光資源創出プロモーション事業、観光振興や地域活性化を目指した観光イベントへの助成等。

(2) 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

結婚から妊娠、出産、育児と切れ目のない支援のための出産祝金支給事業(第二子以降からの支給)、子ども医療費助成事業(高校3年生まで)、乳幼児紙おむつ給付事業、妊婦・乳幼児健康診査事業、共働き家庭等を支援する放課後児童クラブ運営事業等。

適切な教育・保育サービスの充実を図るための医療的ケア児保育支援事業、子育てのための施設等利用給付事業等。

市民一人ひとりの健康を守るための感染症予防対策事業、各種検診事業。

障害者の自立を支援するための自立支援給付事業等。

学校教育の充実を図るための教育の情報化推進事業や中学校英語指導助手配置事業、安全・快適な教育環境の充実を図る小・中学校施設改修事業等。

文化意識の高揚と豊かな心を育むための文化振興事業等。

良好なスポーツ環境の充実を図る、サッカー場整備事業等。

(3) ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

旭市への移住・定住を促進し、地域の活性化を図るための生涯活躍のまち形成事業、移住・定住促進事業、シティプロモーション推進事業等。

市民生活の向上及び住宅関連業種の振興を図る空き家等対策推進事業、住宅リフォーム補助事業等。

産業振興や地域振興を促進するための飯岡海上連絡道三川蛇園線をはじめとした主要な幹線市道の整備事業等。生活環境の向上に寄与する道路新設改良事業、道路維持補修事業等。

スポーツを通じた交流を図るためのスポーツ振興事業等。

(4) 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

災害に強い地域づくりのための防災体制強化事業、震災復興・津波避難道路整備事業等。

災害時の備蓄品の確保や防災備蓄倉庫の整備などを行う防災対策整備事業、消防力強化・防災対策としての消防庁舎整備事業、消防施設整備事業等。

公共交通網としてのコミュニティバス等運行事業、デマンド交通運行事業等。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための家族介護用品給付事業、緊急通報体制等整備事業等。

予 算 の 規 模

(単位:千円)

会 計 名		年 度	令和4年度 当初予算 ①	令和3年度 当初予算 ②	比 較 増 減	
					増 減 額 ① - ② ③	増 減 率 ③ / ②
一 般 会 計			28,710,000	29,890,000	△ 1,180,000	△ 3.9 %
特別会計	病院事業債管理		2,591,000	2,794,000	△ 203,000	△ 7.3 %
	国民健康保険事業 (事業勘定)		8,900,000	8,480,000	420,000	5.0 %
	国民健康保険事業 (施設勘定)		82,000	84,000	△ 2,000	△ 2.4 %
	後期高齢者医療		785,000	748,000	37,000	4.9 %
	介護保険事業		5,407,000	5,309,000	98,000	1.8 %
小 計			17,765,000	17,415,000	350,000	2.0 %
企業会計	水道事業	(収)	1,532,971	1,448,270	84,701	5.8 %
		(資)	398,426	191,080	207,346	108.5 %
		計	1,931,397	1,639,350	292,047	17.8 %
	公共下水道事業	(収)	551,882	546,959	4,923	0.9 %
		(資)	361,207	278,933	82,274	29.5 %
		計	913,089	825,892	87,197	10.6 %
	農業集落排水事業	(収)	77,352	68,410	8,942	13.1 %
		(資)	42,413	18,328	24,085	131.4 %
		計	119,765	86,738	33,027	38.1 %
	小 計			2,964,251	2,551,980	412,271
合 計			49,439,251	49,856,980	△ 417,729	△ 0.8 %

※ 企業会計欄における(収)は収益的支出、(資)は資本的支出である。

令和4年度 旭市一般会計予算の概要

1. 予算規模

令和4年度当初予算額	28,710,000千円
令和3年度当初予算額	29,890,000千円
比 較	△1,180,000千円(3.9%減)

2. 歳 入

- (1) 市税は、7,419,806千円で、対前年度254,027千円、3.5%の増で計上した。
市民税は、令和3年度決算見込の増減傾向から、個人分、法人分ともに増と見込んだ。固定資産税は、土地、家屋、償却資産でそれぞれ増を見込み、市税全体では新型コロナウイルス感染症による影響等もあるものの増と見込んだ。なお、都市計画税については、都市計画事業等の財源に、入湯税については観光・消防施設等の整備、及び観光振興に要する費用の財源に充てる。
- (2) 地方消費税交付金は、1,590,000千円で、対前年度110,000千円、7.4%の増で計上した。
なお、平成26年度に実施された5%から8%への税率引き上げ、及び令和元年度に実施された10%への税率引き上げによる地方消費税増収分については、全額社会保障経費の財源に充てる。
- (3) 地方特例交付金は、47,000千円で、対前年度△107,000千円、69.5%の減で計上した。
令和3年度まであった環境性能割(自動車税、軽自動車税)の減収補填分と新型コロナウイルス感染症により経営状況が悪化した中小事業者の減免を補填する新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金の減少分を見込み計上した。
- (4) 地方交付税は、8,900,000千円で、対前年度480,000千円、5.7%の増で計上した。
普通交付税は、7,900,000千円で、合併特例債の借入金償還額の償還終了等による一時的減額による公債費算入分の減などがあるものの、地方財政計画の伸びに伴う交付額の増などから、対前年度530,000千円、7.2%の増で計上した。
特別交付税は、1,000,000千円で、過疎対策事業債の充当による減などから、対前年度△50,000千円、4.8%の減で計上した。
- (5) 分担金及び負担金は、345,291千円で、対前年度△20,944千円、5.7%の減で計上した。
主なものは、廃棄物収集運搬費用負担金29,410千円、学校給食費負担金231,525千円を計上した。
- (6) 使用料及び手数料は、353,887千円で、対前年度△21,957千円、5.8%の減で計上した。
主なものは、塵芥処理手数料119,145千円、公立保育施設保育料57,236千円などを計上した。
- (7) 国庫支出金は、3,166,639千円で、対前年度△81,830千円、2.5%の減で計上した。
主なものは、障害者自立支援給付費等負担金640,387千円、児童手当負担金611,563千円、生活保護費負担金506,017千円、子どものための教育・保育給付交付金456,875千円、社会資本整備総合交付金323,470千円を計上した。
- (8) 県支出金は、1,906,647千円で、対前年度69,505千円、3.8%の増で計上した。
主なものは、障害者自立支援給付費等負担金320,193千円、保険基盤安定負担金229,612千円、子どものための教育・保育給付費負担金208,752千円を計上した。
- (9) 繰入金は、512,764千円で、対前年度△611,629千円、54.4%の減で計上した。
主なものは、財政調整基金繰入金223,000千円、地域振興基金繰入金123,207千円、ふるさと応援基金繰入金110,000千円を計上した。
- (10) 市債は、2,128,900千円で、対前年度△1,373,200千円、39.2%の減で計上した。
主なものは、合併特例債が4事業で177,700千円、公共施設等適正管理推進事業債が6事業で352,800千円、過疎対策事業債が13事業で428,300千円、臨時財政対策債400,000千円を計上した。

一般会計

《 歳 入 》

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 市 税	7,419,806	25.9 %	7,165,779	24.0 %	254,027	3.5 %
2 地 方 譲 与 税	356,000	1.2 %	317,000	1.1 %	39,000	12.3 %
3 利 子 割 交 付 金	4,000	0.0 %	5,000	0.0 %	△ 1,000	△ 20.0 %
4 配 当 割 交 付 金	39,000	0.1 %	36,000	0.1 %	3,000	8.3 %
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	47,000	0.2 %	26,000	0.1 %	21,000	80.8 %
6 法 人 事 業 税 交 付 金	72,000	0.3 %	60,000	0.2 %	12,000	20.0 %
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,590,000	5.5 %	1,480,000	4.9 %	110,000	7.4 %
8 環 境 性 能 割 交 付 金	54,000	0.2 %	50,000	0.2 %	4,000	8.0 %
9 地 方 特 例 交 付 金	47,000	0.2 %	154,000	0.5 %	△ 107,000	△ 69.5 %
10 地 方 交 付 税	8,900,000	31.0 %	8,420,000	28.2 %	480,000	5.7 %
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	9,000	0.0 %	9,000	0.0 %	0	0.0 %
12 分 担 金 及 び 負 担 金	345,291	1.2 %	366,235	1.2 %	△ 20,944	△ 5.7 %
13 使 用 料 及 び 手 数 料	353,887	1.2 %	375,844	1.3 %	△ 21,957	△ 5.8 %
14 国 庫 支 出 金	3,166,639	11.0 %	3,248,469	10.9 %	△ 81,830	△ 2.5 %
15 県 支 出 金	1,906,647	6.7 %	1,837,142	6.1 %	69,505	3.8 %
16 財 産 収 入	59,573	0.2 %	50,566	0.2 %	9,007	17.8 %
17 寄 附 金	150,000	0.5 %	71,000	0.2 %	79,000	111.3 %
18 繰 入 金	512,764	1.8 %	1,124,393	3.8 %	△ 611,629	△ 54.4 %
19 繰 越 金	600,000	2.1 %	600,000	2.0 %	0	0.0 %
20 諸 収 入	948,493	3.3 %	991,472	3.3 %	△ 42,979	△ 4.3 %
21 市 債	2,128,900	7.4 %	3,502,100	11.7 %	△ 1,373,200	△ 39.2 %
合 計	28,710,000	100.0 %	29,890,000	100.0 %	△ 1,180,000	△ 3.9 %
一 般 財 源	19,845,794	69.1 %	19,931,026	66.7 %	△ 85,232	△ 0.4 %
特 定 財 源	8,864,206	30.9 %	9,958,974	33.3 %	△ 1,094,768	△ 11.0 %
自 主 財 源	10,389,814	36.2 %	10,745,289	35.9 %	△ 355,475	△ 3.3 %
依 存 財 源	18,320,186	63.8 %	19,144,711	64.1 %	△ 824,525	△ 4.3 %

3. 歳 出

- (1) 人件費、扶助費、公債費の義務的経費は、14,515,250千円で、対前年度△156,029千円、1.1%の減で計上した。

人件費は、「定員適正化計画」に基づく職員数の削減や、期末手当の減などはあったものの、公立保育所や放課後児童クラブ、小・中学校の英語教育関係などの会計年度任用職員の増などにより、対前年度25,567千円、0.4%の増で計上した。

扶助費は、民間認可保育所運営費給付事業の減などにより、対前年度△83,148千円、1.5%の減で計上した。

公債費は、元利償還金の減により、対前年度△98,448千円、3.0%の減で計上した。

- (2) 投資的経費は、2,858,446千円で、対前年度△1,327,875千円、31.7%の減で計上した。

主なものとして、合併特例事業では、飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業、冠水対策排水整備事業、消防庁舎整備事業、サッカー場整備事業などを計上した。

公共施設適正管理事業では、道路維持補修事業、社会教育施設再編事業などを計上した。

土木費では、継続事業として道路新設改良事業、震災復興・津波避難道路整備事業、ほか、飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業などを計上した。

消費費では、新規事業として、消防庁舎整備事業などを計上した。

教育費では、小学校施設改修事業、第二学校給食センター管理費などを計上した。

- (3) 物件費は、3,740,180千円で、対前年度98,915千円、2.7%の増で計上した。

主なものとして、旧旭市民会館や青年の家の解体等に要する経費などを計上した。

- (4) 補助費等は、4,596,758千円で、対前年度109,734千円、2.4%の増で計上した。

主なものとして、環境衛生事務費に計上した東総地区広域市町村圏事務組合負担金（広域ごみ処理施設運営費及び建設費）などを計上した。

- (5) 積立金は、202,035千円で、対前年度81,742千円、68.0%の増で計上した。

主なものとして、ふるさと応援基金積立金を計上した。

- (6) 投資及び出資金は、141,476千円で、対前年度△36,852千円、20.7%の減で計上した。

公共下水道事業会計及び農業集落排水事業会計への出資金を計上した。

- (7) 繰出金は、2,364,295千円で、対前年度102,244千円、4.5%の増で計上した。

主なものとして、国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計への繰出金や、後期高齢者医療広域連合に対する負担金を計上した。

一般会計

《 歳 出 》 性質別

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
1 人 件 費	5,993,299	20.9 %	5,967,732	20.0 %	25,567	0.4 %
2 物 件 費	3,740,180	13.0 %	3,641,265	12.2 %	98,915	2.7 %
3 維 持 補 修 費	133,560	0.5 %	184,639	0.6 %	△ 51,079	△ 27.7 %
4 扶 助 費	5,370,036	18.7 %	5,453,184	18.2 %	△ 83,148	△ 1.5 %
5 補 助 費 等	4,596,758	16.0 %	4,487,024	15.0 %	109,734	2.4 %
6 普 通 建 設 事 業 費	2,858,439	9.9 %	4,186,314	14.0 %	△ 1,327,875	△ 31.7 %
(イ) 補 助	723,514	2.5 %	1,012,972	3.4 %	△ 289,458	△ 28.6 %
(ロ) 単 独	2,073,606	7.2 %	3,090,287	10.3 %	△ 1,016,681	△ 32.9 %
(ハ) 県営事業負担金等	61,319	0.2 %	83,055	0.3 %	△ 21,736	△ 26.2 %
7 災 害 復 旧 費	7	0.0 %	7	0.0 %	0	0.0 %
8 公 債 費	3,151,915	11.0 %	3,250,363	10.9 %	△ 98,448	△ 3.0 %
9 積 立 金	202,035	0.7 %	120,293	0.4 %	81,742	68.0 %
10 投 資 及 び 出 資 金	141,476	0.5 %	178,328	0.6 %	△ 36,852	△ 20.7 %
11 貸 付 金	108,000	0.4 %	108,800	0.3 %	△ 800	△ 0.7 %
12 繰 出 金	2,364,295	8.2 %	2,262,051	7.6 %	102,244	4.5 %
13 予 備 費	50,000	0.2 %	50,000	0.2 %	0	0.0 %
合 計	28,710,000	100.0 %	29,890,000	100.0 %	△ 1,180,000	△ 3.9 %
義務的経費 1+4+8	14,515,250	50.6 %	14,671,279	49.1 %	△ 156,029	△ 1.1 %
投資的経費 6 + 7	2,858,446	10.0 %	4,186,321	14.0 %	△ 1,327,875	△ 31.7 %

一般会計

《歳出》目的別

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	221,835	0.8%	204,351	0.7%	17,484	8.6%
2 総務費	3,611,404	12.6%	4,031,181	13.5%	△ 419,777	△ 10.4%
3 民生費	9,452,281	32.9%	9,423,801	31.5%	28,480	0.3%
4 衛生費	4,009,578	13.9%	4,006,432	13.4%	3,146	0.1%
5 労働費	3,333	0.0%	1,869	0.0%	1,464	78.3%
6 農林水産業費	1,047,420	3.6%	901,386	3.0%	146,034	16.2%
7 商工費	454,129	1.6%	445,542	1.5%	8,587	1.9%
8 土木費	2,951,922	10.3%	3,376,890	11.3%	△ 424,968	△ 12.6%
9 消防費	1,107,678	3.8%	1,167,039	3.9%	△ 59,361	△ 5.1%
10 教育費	2,573,182	9.0%	2,951,366	9.9%	△ 378,184	△ 12.8%
11 災害復旧費	7	0.0%	7	0.0%	0	0.0%
12 公債費	3,151,915	11.0%	3,250,363	10.9%	△ 98,448	△ 3.0%
13 諸支出金	75,316	0.3%	79,773	0.2%	△ 4,457	△ 5.6%
14 予備費	50,000	0.2%	50,000	0.2%	0	0.0%
合計	28,710,000	100.0%	29,890,000	100.0%	△ 1,180,000	△ 3.9%

令和4年度 一般会計予算 主要事業一覧表

委員会	No.	事業名 (新)…新規事業 (拡)…拡充事業	総合戦略※	事業費 (千円)	財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
総務	1	(拡) 広報活動費	3	26,998		616			26,382
	2	ふるさと応援寄附推進事業	3	63,083					63,083
	3	(拡) 生涯活躍のまち形成事業	◎	148,480	10,799			10,186	127,495
	4	(新) シティプロモーション推進事業	3	15,725	6,173			9,336	216
	5	(新) 移住・定住促進事業	3	57,321		2,250		53,840	1,231
	6	コミュニティバス等運行事業	4	76,873	4,026		23,900	276	48,671
	7	(新) 消防庁舎整備事業	4	19,759			18,700		1,059
	8	消防施設整備事業	4	36,705			10,600	5,831	20,274

※旭市総合戦略基本目標

1. 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり
 2. 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり
 3. ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり
 4. 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり
- ◎. 1～4全ての基本目標に関連する事業

令和4年度 一般会計予算 主要事業一覧表

委員会	No.	事業名 (新)…新規事業 (拡)…拡充事業	総合戦略※	事業費 (千円)	財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
文教福祉	9	(拡) 感染症予防対策事業	2	173,589	5,837	30		350	167,372
	10	(拡) 妊婦・乳幼児健康診査事業	2	58,739					58,739
	11	自立支援給付事業	2	1,353,188	675,621	337,882			339,685
	12	子ども医療費助成事業	2	231,524		67,122			164,402
	13	出産祝金支給事業	2	28,800					28,800
	14	乳幼児紙おむつ給付事業	2	28,486					28,486
	15	(新) 医療的ケア児保育支援事業	2	23,674	11,837	5,918			5,919
	16	(新) 家族介護用品給付事業	4	6,334				6,334	
	17	放課後児童クラブ運営事業	2	150,845	35,438	35,438		44,375	35,594
	18	教育の情報化推進事業	2	103,588					103,588
	19	(拡) 小学校教諭補助員配置事業	2	45,021					45,021
	20	(拡) 中学校英語指導助手配置事業	2	51,333				2,361	48,972
	21	(拡) 文化振興事業	2	11,483				3,350	8,133
	22	(拡) スポーツ振興事業	3	22,804				17,363	5,441
23	サッカー場整備事業	2	20,250			6,100	12,914	1,236	

令和4年度 一般会計予算 主要事業一覧表

委員会	No.	事業名 (新)…新規事業 (拡)…拡充事業	総合戦略※	事業費 (千円)	財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
建設 経済	24	(拡) 商業活性化推進事業	1	78,878				7,828	71,050
	25	(拡) 観光資源創出プロモーション事業	1	7,432				7,432	
	26	(拡) 観光施設管理費	1	62,072		2,383		15,831	43,858
	27	(拡) 観光イベント事業	1	28,188				21,400	6,788
	28	(拡) 新規就農総合支援事業	1	43,112		31,500		3,600	8,012
	29	水田農業構造改革推進事業	1	175,794		49,935	13,200		112,659
	30	(拡) 園芸用廃プラスチック処理対策事業	3	10,877		3,500			7,377
	31	(拡) 家畜防疫対策事業	1	43,975			7,600		36,375
	32	(拡) 畜産環境フレッシュ事業	1	10,000					10,000
	33	農業水利施設改修事業	1	58,849		37,023	18,700		3,126
	34	道路新設改良事業	3	332,776	76,450		72,200		184,126
	35	蛇園南地区排水路整備事業	3	124,030			124,000		30
	36	飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業	3	450,715	230,520		215,500		4,695
	37	南堀之内バイパス整備事業	3	136,600	16,500		119,500		600
	38	震災復興・津波避難道路整備事業	4	313,833			258,700	30,000	25,133
	39	冠水対策排水整備事業	3	132,770			126,000		6,770
	40	(拡) 都市計画総務事務費	3	19,628				1,114	18,514
	41	住宅リフォーム補助事業	3	25,000	11,250				13,750
42	(拡) 空き家等対策推進事業	3	6,809	366			3,900	2,543	

令和4年度 旭市病院事業債管理特別会計予算の概要

1. 予算規模

令和4年度当初予算額	2,591,000千円
令和3年度当初予算額	2,794,000千円
比 較	△203,000千円(7.3%減)

令和4年度予算として、歳入は、地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院からの貸付金元利収入として2,041,000千円、市債550,000千円を計上し、歳出は、法人への貸付金として550,000千円、公債費として2,041,000千円を計上した。

2. 歳 入

- (1) 諸収入は、貸付金元利収入として2,041,000千円を計上した。
- (2) 市債は、病院事業債として550,000千円を計上した。

【起債対象経費内訳】

医療機器整備分

・CT装置1式、手術顕微鏡装置1式、その他8種類10式 550,000千円

3. 歳 出

- (1) 事業費は、貸付金として550,000千円を計上した。
- (2) 公債費は、2,041,000千円を計上した。

内訳は、借入金償還費として1,730,880千円、借入金利子支払費として310,120千円を計上した。

令和4年度 旭市病院事業債管理特別会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 諸 収 入	2,041,000	78.8 %	2,144,000	76.7 %	△ 103,000	△ 4.8 %
2 市 債	550,000	21.2 %	650,000	23.3 %	△ 100,000	△ 15.4 %
合 計	2,591,000	100.0 %	2,794,000	100.0 %	△ 203,000	△ 7.3 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 事 業 費	550,000	21.2 %	650,000	23.3 %	△ 100,000	△ 15.4 %
2 公 債 費	2,041,000	78.8 %	2,144,000	76.7 %	△ 103,000	△ 4.8 %
合 計	2,591,000	100.0 %	2,794,000	100.0 %	△ 203,000	△ 7.3 %

令和4年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（事業勘定）の概要

1. 予算規模

令和4年度当初予算額	8,900,000千円
令和3年度当初予算額	8,480,000千円
比較	420,000千円（5.0%増）

歳入は、令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少と被保険者数の減少に伴い、税収の回復は見込めないため、不足する財源には、財政調整基金繰入金を充てて予算編成した。

歳出では、被保険者の高齢者割合の高まりを受け、一人当たりの医療費が年々増加傾向であることから保険給付費が増加し、予算総額で対前年度比5.0%増を見込んだ。

なお、令和4年度の被保険者数を17,873人、一人当たり医療費を304,537円と見込んだ。

2. 歳入

- (1) 国民健康保険税は、1,741,803千円で、対前年度8,001千円、0.5%の増を見込んだ。
- (2) 県支出金は、6,453,303千円で、対前年度505,104千円、8.5%の増を見込んだ。
内訳は、保険給付費等普通交付金6,312,074千円、保険給付費等特別交付金141,229千円を計上した。
- (3) 繰入金は、677,304千円で、対前年度△90,571千円、11.8%の減を見込んだ。
内訳は、一般会計繰入金497,304千円、財政調整基金繰入金180,000千円を計上した。
なお、一般会計繰入金に令和4年度から未就学児保険税均等割軽減分繰入金を新設した。
- (4) その他の収入は、合計27,590千円で、主なものは、財産収入180千円、諸収入27,404千円などを見込んだ。

3. 歳出

- (1) 総務費は、47,305千円で、対前年度△2,324千円、4.7%の減を見込んだ。
- (2) 保険給付費は、6,351,411千円で、対前年度500,841千円、8.6%の増を見込んだ。
- (3) 保険事業費納付金は、2,353,203千円で、対前年度△68,483千円、2.8%の減を見込んだ。
内訳は、医療給付費分1,514,469千円、後期高齢者支援金分565,746千円、介護分272,988千円を計上した。
- (4) 保健事業費は、85,458千円で、対前年度1,713千円、2.0%の増を見込んだ。
- (5) その他の支出は、合計62,623千円で、主なものは、基金積立金180千円、諸支出金32,442千円、予備費30,000千円などを見込んだ。

令和4年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算(事業勘定)

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 国民健康保険税	1,741,803	19.6 %	1,733,802	20.5 %	8,001	0.5 %
2 一部負担金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
3 使用料及び手数料	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
4 国庫支出金	3	0.0 %	3,577	0.0 %	△ 3,574	△ 99.9 %
5 県支出金	6,453,303	72.5 %	5,948,199	70.1 %	505,104	8.5 %
6 財産収入	180	0.0 %	250	0.0 %	△ 70	△ 28.0 %
7 繰入金	677,304	7.6 %	767,875	9.1 %	△ 90,571	△ 11.8 %
8 繰越金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
9 諸収入	27,404	0.3 %	26,294	0.3 %	1,110	4.2 %
合 計	8,900,000	100.0 %	8,480,000	100.0 %	420,000	5.0 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総務費	47,305	0.5 %	49,629	0.6 %	△ 2,324	△ 4.7 %
2 保険給付費	6,351,411	71.4 %	5,850,570	69.0 %	500,841	8.6 %
3 保険事業費納付金	2,353,203	26.4 %	2,421,686	28.6 %	△ 68,483	△ 2.8 %
4 保健事業費	85,458	1.0 %	83,745	1.0 %	1,713	2.0 %
5 基金積立金	180	0.0 %	250	0.0 %	△ 70	△ 28.0 %
6 公債費	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
7 諸支出金	32,442	0.4 %	44,119	0.5 %	△ 11,677	△ 26.5 %
8 予備費	30,000	0.3 %	30,000	0.3 %	0	0.0 %
合 計	8,900,000	100.0 %	8,480,000	100.0 %	420,000	5.0 %

令和4年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算（施設勘定）の概要

1. 予算規模

令和4年度当初予算額	82,000千円
令和3年度当初予算額	84,000千円
比 較	△2,000千円（2.4%減）

歳入は、令和3年度に引き続きコロナ禍は継続すると見込み、予約診療による人数制限やマスク・手洗い習慣等の感染症対策によるコロナ以外の感染症患者などの受診者の減少、更に地域の人口減少も加わり、診療収入の回復は見込めないため、不足する財源は、財政調整基金繰入金を充てて予算編成した。

歳出は、地域医療機関として、コロナ禍でも安心、安定した医療を提供するため、老朽化した施設の整備費などを見込んだ。

なお、令和4年度の患者数は4,888人、一人当たりの診療収入を11,221円と見込んだ。

2. 歳 入

- (1) 診療収入は、54,850千円で、対前年度△5,996千円、9.9%の減を見込んだ。
内訳は、外来収入50,741千円、その他の診療収入4,109千円を計上した。
- (2) 繰入金は、23,400千円で、対前年度2,000千円、9.3%の増を見込んだ。
内訳は、一般会計繰入金7,100千円、事業勘定繰入金300千円、財政調整基金繰入金16,000千円を計上した。
- (3) 繰越金は、3,475千円を見込んだ。
- (4) その他の収入は、合計275千円で、主なものは、使用料及び手数料60千円、諸収入204千円などを見込んだ。

3. 歳 出

- (1) 総務費は、47,293千円で、対前年度△2,428千円、4.9%の減を見込んだ。
内訳は、診療所関係職員給与費31,713千円、診療所総務事務費12,748千円、診療所施設管理費2,689千円、研究研修費143千円を計上した。
- (2) 医業費は、32,695千円で、対前年度438千円、1.4%の増を見込んだ。
内訳は、医療用機械器具費1,985千円、医療用消耗器材費710千円、医薬品衛生材料費30,000千円を計上した。
- (3) その他の支出は、合計2,012千円で、主なものは、基金積立金10千円、予備費2,000千円などを見込んだ。

令和4年度 旭市国民健康保険事業特別会計予算(施設勘定)

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 診療収入	54,850	66.9 %	60,846	72.4 %	△ 5,996	△ 9.9 %
2 使用料及び手数料	60	0.1 %	59	0.1 %	1	1.7 %
3 財産収入	11	0.0 %	21	0.0 %	△ 10	△ 47.6 %
4 繰入金	23,400	28.5 %	21,400	25.5 %	2,000	9.3 %
5 繰越金	3,475	4.2 %	1,154	1.4 %	2,321	201.1 %
6 諸収入	204	0.3 %	520	0.6 %	△ 316	△ 60.8 %
合 計	82,000	100.0 %	84,000	100.0 %	△ 2,000	△ 2.4 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総務費	47,293	57.7 %	49,721	59.2 %	△ 2,428	△ 4.9 %
2 医業費	32,695	39.9 %	32,257	38.4 %	438	1.4 %
3 基金積立金	10	0.0 %	20	0.0 %	△ 10	△ 50.0 %
4 公債費	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
5 諸支出金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
6 予備費	2,000	2.4 %	2,000	2.4 %	0	0.0 %
合 計	82,000	100.0 %	84,000	100.0 %	△ 2,000	△ 2.4 %

令和4年度 旭市後期高齢者医療特別会計予算の概要

1. 予算規模

令和4年度当初予算額	785,000千円
令和3年度当初予算額	748,000千円
比較	37,000千円(4.9%増)

歳入は、令和4年度から団塊の世代が後期高齢者医療に加入するため、被保険者数の急増に伴う保険料の増を見込み予算編成した。

歳出は、千葉県後期高齢者医療広域連合で算定する広域連合納付金などの増に伴い、予算総額で対前年度比4.9%の増を見込んだ。

平均被保険者数については、本年度中483人増で、10,360人を見込んだ。

2. 歳入

- (1) 保険料は、557,404千円で、対前年度35,236千円、6.7%の増を見込んだ。
内訳は、現年度分特別徴収保険料387,707千円、現年度分普通徴収保険料168,322千円、滞納繰越分普通徴収保険料1,375千円を計上した。
- (2) 繰入金は、191,855千円で、対前年度△111千円、0.1%の減を見込んだ。
内訳は、一般会計からの事務費繰入金16,054千円、保険基盤安定繰入金175,801千円を計上した。
- (3) 繰越金は、5,000千円を見込んだ。
- (4) 諸収入は、30,741千円で、対前年度1,875千円、6.5%の増を見込んだ。

3. 歳出

- (1) 総務費は、17,385千円で、対前年度△6,014千円、25.7%の減を見込んだ。
内訳は、総務管理費14,486千円、徴収費2,899千円を計上した。
- (2) 広域連合納付金は、733,205千円で、対前年度41,068千円、5.9%の増を見込んだ。
内訳は、保険基盤安定拠出金175,801千円、保険料納付金557,404千円を計上した。
- (3) 保健増進事業費は、27,380千円で、対前年度1,913千円、7.5%の増を見込んだ。
- (4) その他の支出は、諸支出金2,030千円、予備費5,000千円を見込んだ。

令和4年度 旭市後期高齢者医療特別会計予算

1. 歳入

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 保 険 料	557,404	71.0 %	522,168	69.8 %	35,236	6.7 %
2 繰 入 金	191,855	24.5 %	191,966	25.7 %	△ 111	△ 0.1 %
3 繰 越 金	5,000	0.6 %	5,000	0.7 %	0	0.0 %
4 諸 収 入	30,741	3.9 %	28,866	3.8 %	1,875	6.5 %
合 計	785,000	100.0 %	748,000	100.0 %	37,000	4.9 %

2. 歳出

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総 務 費	17,385	2.2 %	23,399	3.1 %	△ 6,014	△ 25.7 %
2 広域連合納付金	733,205	93.4 %	692,137	92.5 %	41,068	5.9 %
3 保健増進事業費	27,380	3.5 %	25,467	3.4 %	1,913	7.5 %
4 諸 支 出 金	2,030	0.3 %	1,997	0.3 %	33	1.7 %
5 予 備 費	5,000	0.6 %	5,000	0.7 %	0	0.0 %
合 計	785,000	100.0 %	748,000	100.0 %	37,000	4.9 %

令和4年度 旭市介護保険事業特別会計予算の概要

1. 予算規模

令和4年度当初予算額	5,407,000千円
令和3年度当初予算額	5,309,000千円
比較	98,000千円(1.8%増)

保険給付費については、公費負担50%、保険料負担50%で賄うこととなっており、公費負担50%の内訳は、国25%（施設等15%）、県12.5%（施設等17.5%）、市12.5%で、保険料負担50%の内訳は、第1号被保険者保険料23%、第2号被保険者保険料（支払基金交付金）27%である。

歳出の93.6%を占める保険給付費については、対前年度2.4%の増を見込んだ。要介護・要支援状態となることを予防するための地域支援事業費については、9.5%の減を見込んだ。

2. 歳入

- (1) 保険料は、基準額64,800円、賦課人数20,459人、条例で定める所得段階に応じた11段階により設定し、1,234,428千円、対前年度25,139千円、2.1%の増を見込んだ。
- (2) 国庫支出金は、1,158,135千円で、対前年度8,652千円、0.8%の増を見込んだ。
内訳は、介護給付費負担金に896,666千円、調整交付金に163,332千円、地域支援事業交付金に79,735千円、保険者機能強化推進交付金に9,513千円、保険者努力支援交付金8,888千円を計上した。
- (3) 支払基金交付金は、1,400,915千円で、対前年度28,250千円、2.1%の増を見込んだ。
内訳は、介護給付費交付金に1,365,914千円、地域支援事業支援交付金に35,001千円を計上した。
- (4) 県支出金は、787,359千円で、対前年度13,949千円、1.8%の増を見込んだ。
内訳は、介護給付費負担金に747,491千円、地域支援事業交付金に39,868千円を計上した。
- (5) 繰入金は、819,131千円で、対前年度22,260千円、2.8%の増を見込んだ。
内訳は、一般会計から、介護給付費に632,369千円、地域支援事業に42,188千円、介護保険事務費に74,857千円、低所得者保険料軽減繰入金に69,716千円を計上した。
- (6) その他の収入は、財産収入に68千円、諸収入に6,963千円を計上した。

3. 歳出

- (1) 総務費は、介護保険関係事務費、介護認定審査会等経費、介護保険料賦課徴収等経費として、74,857千円、対前年度5,303千円、7.6%の増を見込んだ。
- (2) 保険給付費は、5,058,948千円で、対前年度120,173千円、2.4%の増を見込んだ。
内訳は、介護サービス等諸費に4,643,834千円、介護予防サービス等諸費に65,515千円、その他諸費に3,706千円、高額介護サービス等費に107,211千円、高額医療合算介護サービス等費に8,853千円、特定入所者介護サービス等費に229,829千円を計上した。
- (3) 地域支援事業費は、261,841千円、対前年度△27,572千円、9.5%の減を見込んだ。
内訳は、介護予防・生活支援サービス事業費に128,200千円、一般介護予防事業費に907千円、包括的支援事業費に108,438千円、任意事業費に23,768千円、その他諸費に528千円を計上した。
- (4) その他の支出は、基金積立金に68千円、諸支出金に1,285千円、予備費に10,000千円を計上した。

令和4年度 旭市介護保険事業特別会計予算

1. 歳 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 保 険 料	1,234,428	22.8 %	1,209,289	22.8 %	25,139	2.1 %
2 国 庫 支 出 金	1,158,135	21.4 %	1,149,483	21.6 %	8,652	0.8 %
3 支 払 基 金 交 付 金	1,400,915	25.9 %	1,372,665	25.9 %	28,250	2.1 %
4 県 支 出 金	787,359	14.6 %	773,410	14.6 %	13,949	1.8 %
5 財 産 収 入	68	0.0 %	33	0.0 %	35	106.1 %
6 繰 入 金	819,131	15.2 %	796,871	15.0 %	22,260	2.8 %
7 繰 越 金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
8 諸 収 入	6,963	0.1 %	7,248	0.1 %	△ 285	△ 3.9 %
合 計	5,407,000	100.0 %	5,309,000	100.0 %	98,000	1.8 %

2. 歳 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度		令和3年度		比較増減	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 総 務 費	74,857	1.4 %	69,554	1.3 %	5,303	7.6 %
2 保 険 給 付 費	5,058,948	93.6 %	4,938,775	93.0 %	120,173	2.4 %
3 財 政 安 定 化 基 金 抛 出 金	1	0.0 %	1	0.0 %	0	0.0 %
4 基 金 積 立 金	68	0.0 %	33	0.0 %	35	106.1 %
5 地 域 支 援 事 業 費	261,841	4.8 %	289,413	5.5 %	△ 27,572	△ 9.5 %
6 諸 支 出 金	1,285	0.0 %	1,224	0.0 %	61	5.0 %
7 予 備 費	10,000	0.2 %	10,000	0.2 %	0	0.0 %
合 計	5,407,000	100.0 %	5,309,000	100.0 %	98,000	1.8 %

令和4年度 旭市水道事業会計予算の概要

1. 業務の予定量

(1) 給水件数

年度中の給水増加件数を207件見込み、年度末の給水件数を21,416件（対前年度比1.1%増）と予定した。

(2) 年間給水量

年間給水量を6,409,114 m³（1日平均給水量17,559 m³、対前年度比1.3%増）と予定した。

2. 収益的収入及び支出

水道事業収益を1,665,851千円（対前年度比0.4%増）、水道事業費用を1,532,971千円（対前年度比5.8%増）と予定した。

収益的収支差引は132,880千円（消費税抜きで116,683千円）の予定。

(1) 水道事業収益の主なもの

- ・給水収益（水道料金収入）は、年間有収水量を5,857,930 m³と想定し、1,449,837千円（対前年度比0.7%増）を予定した。
- ・他会計補助金は、高料金対策に要する経費及び企業職員の児童手当に要する経費として一般会計から75,306千円を予定した。

(2) 水道事業費用の主なもの

- ・原水及び浄水費（受水費）は、年間受水量を6,409,114 m³と想定し、835,125千円（対前年度比0.5%増）を予定した。
- ・構築物等有形固定資産の減価償却費を231,738千円、企業債に係る支払利息を7,596千円と予定した。

3. 資本的収入及び支出

資本的収入を147,782千円（対前年度比285.5%増）、資本的支出を398,426千円（対前年度比108.5%増）と予定した。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額250,644千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする。

(1) 資本的収入の主なもの

- ・企業債借入額は91,300千円で、イ・ロ地区及びニ地区の配水管布設替工事を予定した。
- ・負担金は29,755千円で、消火栓設置にかかる一般会計負担金、負担規程に基づく配水管布設工事申請者負担金、銚子土木事務所関連の配水管移設工事負担金等を予定した。
- ・水道加入者からの給水申込納付金は26,726千円を予定した。

(2) 資本的支出の主なもの

- ・建設改良費のうち拡張工事費は22,770千円で、主なものとして、道路舗装復旧工事、排泥弁設置工事等を予定した。
- ・改良工事費は272,360千円で、主なものとして、旭市水道ビジョンに係る重要給水管路更新事業及び配水区適正化事業による配水管布設替工事等を予定した。
- ・固定資産取得費は31,540千円で、主なものとして海上配水場の次亜塩素注入設備や水位計、海上・飯岡・干潟配水場遠方監視通信装置更新等を予定した。
- ・企業債の償還金は51,755千円を予定した。

令和4年度旭市水道事業会計予算

収益的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 収 益	1,460,569	1,451,147	9,422	0.6 %
(1) 給 水 収 益	1,449,837	1,439,975	9,862	0.7 %
(2) 受 託 工 事 収 益	0	1	△ 1	皆減
(3) そ の 他 営 業 収 益	10,732	11,171	△ 439	△ 3.9 %
2 営 業 外 収 益	205,281	208,552	△ 3,271	△ 1.6 %
(1) 受 取 利 息 及 び 配 当 金	0	1	△ 1	皆減
(2) 他 会 計 補 助 金	75,306	79,763	△ 4,457	△ 5.6 %
(3) 補 助 金	69,631	73,071	△ 3,440	△ 4.7 %
(4) 長 期 前 受 金 戻 入	60,334	55,707	4,627	8.3 %
(5) 雑 収 益	10	10	0	0.0 %
3 特 別 利 益	1	0	1	皆増
(1) 固 定 資 産 売 却 益	1	0	1	皆増
合 計	1,665,851	1,659,699	6,152	0.4 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 費 用	1,489,880	1,391,255	98,625	7.1 %
(1) 原 水 及 び 浄 水 費	835,125	831,005	4,120	0.5 %
(2) 配 水 及 び 給 水 費	315,980	227,875	88,105	38.7 %
(3) 受 託 工 事 費	0	1	△ 1	皆減
(4) 総 係 費	94,212	91,254	2,958	3.2 %
(5) 減 価 償 却 費	231,738	236,213	△ 4,475	△ 1.9 %
(6) 資 産 減 耗 費	12,825	4,907	7,918	161.4 %
2 営 業 外 費 用	21,255	35,618	△ 14,363	△ 40.3 %
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	7,596	9,115	△ 1,519	△ 16.7 %
(2) 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	13,658	26,502	△ 12,844	△ 48.5 %
(3) 雑 支 出	1	1	0	0.0 %
3 特 別 損 失	1,836	1,397	439	31.4 %
4 予 備 費	20,000	20,000	0	0.0 %
合 計	1,532,971	1,448,270	84,701	5.8 %

収 益 的 収 支 差 引	132,880	211,429	△ 78,549	△ 37.2 %
---------------	---------	---------	----------	----------

資本的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 企 業 債	91,300	0	91,300	皆増
2 負 担 金	29,755	15,384	14,371	93.4 %
3 給 水 申 込 納 付 金	26,726	22,949	3,777	16.5 %
4 固 定 資 産 売 却 代 金	1	0	1	皆増
合 計	147,782	38,333	109,449	285.5 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 建 設 改 良 費	326,670	127,033	199,637	157.2 %
(1) 拡 張 工 事 費	22,770	41,971	△ 19,201	△ 45.7 %
(2) 改 良 工 事 費	272,360	73,513	198,847	270.5 %
(3) 固 定 資 産 取 得 費	31,540	11,549	19,991	173.1 %
2 企 業 債 償 還 金	51,755	44,046	7,709	17.5 %
3 そ の 他 資 本 的 支 出	1	1	0	0.0 %
4 予 備 費	20,000	20,000	0	0.0 %
合 計	398,426	191,080	207,346	108.5 %

資 本 的 収 支 差 引	△ 250,644	△ 152,747	△ 97,897	△ 64.1 %
---------------	-----------	-----------	----------	----------

令和4年度 旭市公共下水道事業会計予算の概要

1. 業務の予定量

(1) 接続件数

年度中の接続増加件数を33件見込み、年度末の接続件数を2,077件(対前年度比2.4%増)と予定した。

(2) 年間有収水量

年間有収水量を596,155 m³(1日平均有収水量1,633 m³、対前年度比1.9%減)と予定した。

2. 収益的収入及び支出

下水道事業収益を588,007千円(対前年度比7.5%増)、下水道事業費用を551,882千円(対前年度比0.9%増)と予定した。

収益的収支差引は36,125千円(消費税抜きで55,608千円)の予定。

(1) 下水道事業収益の主なもの

- ・下水道使用料は110,429千円(対前年度比0.1%増)を予定した。
- ・他会計負担金は企業債に係る支払利息、企業職員の児童手当に要する経費等として、一般会計から276,089千円を予定した。
- ・補助金は社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金として、7,700千円を予定した。

(2) 下水道事業費用の主なもの

- ・処理場費は公共下水道施設運転管理業務委託等として、179,208千円(対前年度比9.1%増)を予定した。
- ・構築物等有形固定資産の減価償却費を240,499千円、企業債に係る支払利息を46,583千円と予定した。

3. 資本的収入及び支出

資本的収入を256,783千円(対前年度比9.5%増)、資本的支出を361,207千円(対前年度比29.5%増)と予定した。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額104,424千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんする。

(1) 資本的収入の主なもの

- ・企業債借入額は69,400千円で企業債の償還金に充てるための特別措置分23,400千円、資本費平準化債46,000千円を予定した。
- ・他会計負担金は企業債に係る元金償還分として、一般会計からの繰入金を123,911千円と予定した。

(2) 資本的支出の主なもの

- ・建設改良費は建設課関連の地域排水路整備工事に伴う公共下水道管移設工事等として76,065千円を予定した。
- ・企業債の償還金は282,142千円を予定した。

令和4年度旭市公共下水道事業会計予算

収益的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 収 益	110,549	110,643	△ 94	△ 0.1 %
(1)下 水 道 使 用 料	110,429	110,355	74	0.1 %
(2)そ の 他 営 業 収 益	120	288	△ 168	△ 58.3 %
2 営 業 外 収 益	477,458	436,316	41,142	9.4 %
(1)他 会 計 負 担 金	276,089	218,703	57,386	26.2 %
(2)補 助 金	7,700	0	7,700	皆増
(3)長 期 前 受 金 戻 入	193,668	217,612	△ 23,944	△ 11.0 %
(4)雑 収 益	1	1	0	0.0 %
合 計	588,007	546,959	41,048	7.5 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 費 用	492,540	484,177	8,363	1.7 %
(1)管 渠 費	1,697	4,918	△ 3,221	△ 65.5 %
(2)処 理 場 費	179,208	164,300	14,908	9.1 %
(3)総 係 費	68,991	44,722	24,269	54.3 %
(4)減 価 償 却 費	240,499	270,237	△ 29,738	△ 11.0 %
(5)資 産 減 耗 費	2,145	0	2,145	皆増
2 営 業 外 費 用	55,709	59,781	△ 4,072	△ 6.8 %
(1)支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	46,583	52,156	△ 5,573	△ 10.7 %
(2)消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	9,126	7,625	1,501	19.7 %
3 特 別 損 失	633	1	632	63,200.0 %
4 予 備 費	3,000	3,000	0	0.0 %
合 計	551,882	546,959	4,923	0.9 %

収 益 的 収 支 差 引	36,125	0	36,125	皆増
---------------	--------	---	--------	----

資本的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 企 業 債	69,400	73,400	△ 4,000	△ 5.4 %
2 他 会 計 負 担 金	123,911	161,000	△ 37,089	△ 23.0 %
3 負 担 金 及 び 分 担 金	2	76	△ 74	△ 97.4 %
4 工 事 負 担 金	63,470	0	63,470	皆増
合 計	256,783	234,476	22,307	9.5 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 建 設 改 良 費	76,065	0	76,065	皆増
(1) 拡 張 工 事 費	8,800	0	8,800	皆増
(2) 改 良 工 事 費	63,470	0	63,470	皆増
(3) 固 定 資 産 取 得 費	3,795	0	3,795	皆増
2 企 業 債 償 還 金	282,142	275,933	6,209	2.3 %
3 予 備 費	3,000	3,000	0	0.0 %
合 計	361,207	278,933	82,274	29.5 %

資 本 的 収 支 差 引	△ 104,424	△ 44,457	△ 59,967	△ 134.9 %
---------------	-----------	----------	----------	-----------

令和4年度 旭市農業集落排水事業会計予算の概要

1. 業務の予定量

(1) 接続件数

年度末の接続件数を412件（年度中増減なし）と予定した。

(2) 年間有収水量

年間有収水量を137,204 m³（1日平均有収水量376 m³、対前年度比1.3%減）と予定した。

2. 収益的収入及び支出

下水道事業収益を79,430千円（対前年度比16.1%増）、下水道事業費用を77,352千円（対前年度比13.1%増）と予定した。

収益的収支差引は2,078千円（消費税抜きで4,680千円）の予定。

(1) 下水道事業収益の主なもの

- ・下水道使用料は17,476千円（対前年度比0.6%増）と予定した。
- ・他会計負担金は企業債に係る支払利息等として、一般会計から32,344千円を予定した。

(2) 下水道事業費用の主なもの

- ・処理場費は農業集落排水処理施設運転管理業務委託料、修繕費等として、22,002千円（対前年度比26.5%）を予定した。
- ・構築物等有形固定資産の減価償却費を33,211千円、企業債に係る支払利息を2,462千円と予定した。

3. 資本的収入及び支出

資本的収入を26,385千円（対前年度比48.7%増）、資本的支出を42,413千円（対前年度比131.4%増）と予定した。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額16,028千円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんする。

(1) 資本的収入の主なもの

- ・企業債借入額は建設改良費に充てるための下水道事業債として、8,400千円と予定した。
- ・他会計負担金は企業債に係る元金償還分として、一般会計からの繰入金を17,565千円と予定した。

(2) 資本的支出の主なもの

- ・建設改良費は処理場曝気装置更新等として、22,638千円を予定した。
- ・企業債の償還金は18,775千円を予定した。

令和4年度旭市農業集落排水事業会計予算

収益的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 収 益	17,476	17,374	102	0.6 %
(1) 下 水 道 使 用 料	17,476	17,374	102	0.6 %
2 営 業 外 収 益	61,954	51,036	10,918	21.4 %
(1) 他 会 計 負 担 金	32,344	20,667	11,677	56.5 %
(2) 長 期 前 受 金 戻 入	29,609	30,368	△ 759	△ 2.5 %
(3) 雑 収 益	1	1	0	0.0 %
合 計	79,430	68,410	11,020	16.1 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減 額	増 減 率
1 営 業 費 用	72,549	63,255	9,294	14.7 %
(1) 管 渠 費	3,369	2,706	663	24.5 %
(2) 処 理 場 費	22,002	17,397	4,605	26.5 %
(3) 総 係 費	12,590	9,941	2,649	26.6 %
(4) 減 価 償 却 費	33,211	33,211	0	0.0 %
(5) 資 産 減 耗 費	1,377	0	1,377	皆増
2 営 業 外 費 用	3,801	4,154	△ 353	△ 8.5 %
(1) 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	2,462	2,770	△ 308	△ 11.1 %
(2) 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	1,339	1,384	△ 45	△ 3.3 %
3 特 別 損 失	2	1	1	100.0 %
4 予 備 費	1,000	1,000	0	0.0 %
合 計	77,352	68,410	8,942	13.1 %

収 益 的 収 支 差 引	2,078	0	2,078	皆増
---------------	-------	---	-------	----

資本的収入及び支出(消費税込み)

収 入

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
1 企業債	8,400	0	8,400	皆増
2 他会計負担金	17,565	17,328	237	1.4 %
3 負担金及び分担金	420	420	0	0.0 %
合 計	26,385	17,748	8,637	48.7 %

支 出

(単位:千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
1 建設改良費	22,638	0	22,638	皆増
(1)改良工事費	5,720	0	5,720	皆増
(2)固定資産取得費	16,918	0	16,918	皆増
2 企業債償還金	18,775	17,328	1,447	8.4 %
3 予備費	1,000	1,000	0	0.0 %
合 計	42,413	18,328	24,085	131.4 %

資本的収支差引	△ 16,028	△ 580	△ 15,448	△ 2,663.4 %
---------	----------	-------	----------	-------------

